

IBM WebSphere Application Server は、アプリケーションおよびサービスの構築、デプロイ、再利用、統合、管理のための、業界トップクラスの製品です。



WebSphere. software

ビジネス・ニーズに合った IBM WebSphere Application Server 構成の選択



ハイライト

- 最適化されたランタイム・パフォーマンスによって比類なき高性能が確保されるため、プロセッサ数を減らすことができる
- そのまま使用できるセキュリティー構成を備えた堅固なセキュリティー機能が安心を提供
- アプリケーションの再利用と統合を通じてアプリケーション/サービスの再利用が促され、新たな手段で新規ユーザーを確保できるようになる
- シンプルなインフラストラクチャーを通じたインテリジェントな管理が、柔軟で効果的なアプリケーション制御と効率的なランタイムを実現
- 開発がシンプルになり、各種の標準や最先端テクノロジー、開発フレームワークの選択などに対する拡張サポートが提供される
- 高性能の SOA 環境によって高速性、安全性、拡張性、信頼性を兼ね備えた環境が提供され、開発およびアプリケーションが効率化される

今日のグローバル経済の中で、企業は厳しい課題に直面しています。競争の激化はとどまるところを知りません。単にコンテンツやアプリケーションを Web 上でアクセスできるようにするだけでは、その競争について行くことはできません。企業がビジネスや IT の進化に合わせて発展していくためには、サービス指向アーキテクチャー (SOA) に対応できる俊敏・柔軟・堅牢な基盤が必要となります。

WebSphere® Application Server ファミリーは、開発者/IT アーキテクトに、基幹業務用の重要な全社的アプリケーションから部門レベルの最小規模のアプリケーションに至るまで、あらゆる種類の SOA アプリケーション/サービスを構築し、デプロイできる、革新的でパフォーマンスに優れた基盤の選択肢を提供します。これにより、均一な環境はもちろん、異機種混在環境においても、安全性、拡張容易性、管理容易性などの重要事項を、コストとシンプルさのバランスの中で考えられるようになります。

各種の Feature Pack を使用すると、WebSphere Application Server V7 の革新的新機能が利用しやすくなります。必要に応じて新しい機能およびオープン・スタンダードを選択し、インストールすることができます。

Feature Pack

z/OS シスプレックスを最大限に利用し、セキュアで信頼できる、リソース効率の高いサーバー環境を提供します。

WebSphere
Application Server
for z/OS

WebSphere
Application Server
Network Deployment

基幹業務用アプリケーション向けに、極めて高い可用性、高度な管理機能、および自動パフォーマンス最適化機能を提供します。

Java EE 5 用、Web 2.0 用、および Web サービス用の中核的アプリケーション・サーバーとして機能するとともに、動的アプリケーション用のセキュアな高性能トランザクション・エンジンを提供します。

WebSphere
Application Server

シンプルでありながら動的な Web サイトを構築/管理するためのターンキー・ソリューション (すぐに使用可能なソリューション) を、使いやすい開発環境とともに提供します。

WebSphere
Application
Server-Express

WebSphere
Application Server
Community Edition

オープン・ソース・テクノロジー上に構築され、無料でダウンロード/利用可能なアプリケーション・サーバーを提供します。

共通のコード・ベースを基盤として構築されているもの

IBM WebSphere Application Server V7 は、旧バージョンから拡張されており、Java EE 5 の完全なサポートと認定、Web サービスの強化、Enterprise JavaBeans (EJB) 3.0 対応および Web 2.0 Feature Pack サポートに加えて、生産性と効率性の向上に役立つ広範な機能が提供されます。新たな管理機能によってランタイム・プロビジョニングが可能になり、管理の柔軟性が向上し、アプリケーションの制御性と効率性が向上します。

WebSphere Application Server のパフォーマンスは旧バージョンの時点で既に業界トップでしたが、その基盤の上に構築されたこの V7 では、パフォーマンスがさらに向上しており、ワークロードの統合によるデータ・センターの効率改善を実現します。開発者の視点に立って設計された各種機能により、開発環境がシンプルになり、開発者の生産性が向上しています。また、セキュリティー機能が強化されているため、ぜい弱性への対応能力も上がっています。

絶え間なく変化する環境を予測して 適応する、高性能の SOA 環境

WebSphere Application Server V7 が提供する高速性、安全性、拡張性、信頼性を兼ね備えた環境では、開発効率とアプリケーションの実行効率が向上し、企業はより少ないリソースでより多くの成果を得られるようになります。

WebSphere Application Server のエディション

WebSphere Application Server V7 は広範なプラットフォームをサポートしています。業界屈指のこの幅広いサポートがあれば、ビジネスに役立つプラットフォーム上で稼動するアプリケーションを、確実に構築することが可能です。

表 1 は、WebSphere Application Server の各エディションの特長と機能を記述したものです。この表を参考にすれば、現時点でのビジネス戦略に最も合ったエディションを選択し、ニーズの拡大に沿ってソリューションを進化させていくことができます。

	WebSphere Application Server Community Edition Version 2.1	WebSphere Application Server Express, Version 7	WebSphere Application Server, Version 7	WebSphere Application Server Network Deployment, Version 7	WebSphere Application Server for z/OS, Version 7
最も適したお客様:	トランザクション量が少なくそれほど複雑でないプロジェクトをデプロイするためにオープン・ソース・テクノロジーに素早くアクセスする必要がある、高度な Java スキルを有する開発者または企業	シンプルで動的な Web サイト/アプリケーションを構築、稼働、管理するために手頃な価格の使いやすいソリューションを必要としている、中堅規模企業	拡張性の高い単一サーバー実行環境を構築、稼働、管理する必要がある、中堅企業および大規模企業	基幹業務用アプリケーション向けの高度な管理機能、自動パフォーマンス最適化機能、ほぼ無停止の可用性などを必要としている、大規模企業	z/OS 品質のサービスを活用して基幹業務アプリケーションのパフォーマンスを最適化し、無停止運用を実現する必要がある、大規模企業
ランタイム・プロビジョニング	●	●	●	●	●
プロダクション用データベース	●				
Eclipse 上に構築された IBM Rational® Application Developer の WebSphere 対応アセンブリ/デプロイ・モジュールとの統合	●	●	●	●	●
Java® EE 5 の完全サポート	●	●	●	●	●
Enterprise Java Beans 3.0	●	●	●	●	●
WebSphere Application Server の各種 Feature Pack	●	●	●	●	●
大規模なトランザクションのサポート				●	●

	WebSphere Application Server Community Edition Version 2.1	WebSphere Application Server Express, Version 7	WebSphere Application Server, Version 7	WebSphere Application Server Network Deployment, Version 7	WebSphere Application Server for z/OS, Version 7
Java の迅速な開発/実装用キット (JDK 6.0)、Java Platform Standard Edition 6 (Java SE 6.0)		●	●	●	●
24 時間 365 日の製品サポート	有償	●	●	●	●
高度なセキュリティー		●	●	●	●
広範なオペレーティング・システム・サポートとデータベース接続	○	●	●	●	○ (表 2 末尾の注 1 を参照)
動的キャッシング				●	●
シンプルなフェイルオーバー	●	●	●	●	●
管理オーバーヘッドを軽減する新しい管理エージェント		●	●	●	●
スケーラブルなリモート管理を実現する新しいジョブ・マネージャ				●	●
高度なクラスタリング	○			●	●
サーバー内のワークロード管理:z/OS Workload Manager との統合					●
レポートとチャージバック: リソース消費に関する、きめ細かいレポート作成機能					●
オープン・ソース・ベース	●				

凡例: ● = 完全サポート、○ = 部分的にサポート、空欄 = サポート対象外

表 2. WebSphere Application Server エディション別の具体的な特長と機能

	WebSphere Application Server Community Edition Version 2.1	WebSphere Application Server Express, Version 7	WebSphere Application Server, Version 7	WebSphere Application Server Network Deployment, Version 7	WebSphere Application Server for z/OS, Version 7
Java プログラミング・モデル					
Java EE, Version 5.0 の完全サポートおよび EJB 3.0 対応	●	●	●	●	●
Java SE, Version 5	●	●	●	●	●
Java SE, Version 6	○	●	●	●	●
Java Persistence API (JPA)	●	●	●	●	●
Session Initiation Protocol (SIP)		●	●	●	●
JAX-WS 2.1	● JAX-WS 2.0 をサポート	●	●	●	●
JAXB 2.1	● JAXB 2.0 をサポート	●	●	●	●
StAX 1.0	●	●	●	●	●
JSR 109 1.2	●	●	●	●	●
Portlet Specification 2.0, Java Specification Requests (JSR) 286		●	●	●	●
SOAP 1.2 をサポートする機能強化に対応する SAAJ 1.3	●	●	●	●	●

	WebSphere Application Server Community Edition Version 2.1	WebSphere Application Server Express, Version 7	WebSphere Application Server, Version 7	WebSphere Application Server Network Deployment, Version 7	WebSphere Application Server for z/OS, Version 7
Web 2.0 のハイライト					
Web 2.0 から SOA への接続	●	●	●	●	●
AJAX メッセージング	●	●	●	●	●
AJAX 開発 ツールキット	●	●	●	●	● (表 2 末尾の注 2 を参照)

注:

Web 2.0 のサポートは、WebSphere Application Server V7.0 の機能を拡張するオプション製品である WebSphere Application Server Feature Pack for Web 2.0 によって提供されます。

	WebSphere Application Server Community Edition Version 2.1	WebSphere Application Server Express, Version 7	WebSphere Application Server, Version 7	WebSphere Application Server Network Deployment, Version 7	WebSphere Application Server for z/OS, Version 7
Web サービス・サポートのハイライト					
OASIS WS-Reliable Messaging		●	●	●	●
OASIS WS-Secure Conversation		●	●	●	●
OASIS WS-Trust		●	●	●	●
OASIS WS-Transaction		●	●	●	●
OASIS WS-Security Policy		●	●	●	●
OASIS Kerberos Token Profile		●	●	●	●
W3C WS-Policy		●	●	●	●
W3C WS-Addressing Metadata		●	●	●	●
W3C SOAP 1.2		●	●	●	●
W3C MTOM および XOP		●	●	●	●
WS-Metadata Exchange		●	●	●	●
Microsoft® などの ベンダーとの 相互運用性		●	●	●	●

	WebSphere Application Server Community Edition Version 2.1	WebSphere Application Server Express, Version 7	WebSphere Application Server, Version 7	WebSphere Application Server Network Deployment, Version 7	WebSphere Application Server for z/OS, Version 7
アプリケーションの開発と管理					
統合開発ツール Rational Application Developer for WebSphere のトライアル版が付属 (正規版は別料金)	●	●	●	●	●
Rational Application Developer を同梱した Rational Software Architect for WebSphere	●	●	●	●	●
Rational Application Developer: アセンブリ/デプロイ機能		●	●	●	●
「アプリケーション」の概念を Java EE 5 の範囲外にまで拡張する、WebSphere ビジネス・レベル・アプリケーション		●	●	●	●
高度なセキュリティ					
WebSphere Secure Proxy				●	●
WebSphere Security Domains		●	●	●	●

	WebSphere Application Server Community Edition Version 2.1	WebSphere Application Server Express, Version 7	WebSphere Application Server, Version 7	WebSphere Application Server Network Deployment, Version 7	WebSphere Application Server for z/OS, Version 7
新しいセキュリティー監査機能		●	●	●	●
Kerberos 認証とシングル・サインオン		●	●	●	●
Common Criteria Evaluation Assurance Level 4 認定		●	●	●	●
アプリケーション・インターフェースへの影響なしに z/OS のセキュリティー環境を有効利用					●
プラットフォーム・サポート					
Microsoft Windows [®] 、Linux [®] 、IBM AIX [®] 、および Sun Solaris	●	●	●	●	
HP-UNIX [®]		●	●	●	
IBM i		●*	●	●	
Linux on IBM System z [™]	●		●	●	
64 ビット JavaVM のサポート	●		●	●	●
280 を超えるプロセッサ・バリュー・ユニット数 (PVU) を必要とするサーバー	●	** x86系quad-coreプロセッサは4コアまで その他は2コアまで	●	●	●
z/OS および z/OS システムレックス					●

* IBM i Web Enablement パッケージ (5722-WE2) の一部として利用可

**WebSphere Application Server Express で使用可能な最大プロセッサ・バリュー・ユニット数(PVU)および最大コア数については、プラットフォームにより異なります。詳細はこちらをご参照ください。 <ftp://ftp.software.ibm.com/software/smb/pdfs/LicensingGuide.pdf>

	WebSphere Application Server Community Edition Version 2.1	WebSphere Application Server Express, Version 7	WebSphere Application Server, Version 7	WebSphere Application Server Network Deployment, Version 7	WebSphere Application Server for z/OS, Version 7
パフォーマンス・サポート					
エッジ・オブ・ネットワークサービスを含む、拡張されたパフォーマンス機能				●	●
全体管理およびワークロード管理					
柔軟な管理		●	●	●	●
新しいランタイム・プロビジョニング・サービス	①	●	●	●	●
マイグレーション・サポート					
マイグレーションの文書化	●	●	●	●	●
マイグレーション・ツール/支援	①	●	●	●	●
オープン・ソース・サポート					
Apache Geronimo カーネル上に構築	●				
IBM HTTP Server for WebSphere (powered by Apache)	●	●	●	●	●
アップグレード・パス					
J2EE 互換性を基盤とするあらゆる WebSphere Application Server 構成	●	●	●	●	●

注:

¹. サポートされるオペレーティング・システムは z/OS のみです。

². AJAX 開発ツールキットは WebSphere Application Server for z/OS 用アプリケーションの作成に使用できますが、このキット自体は z/OS 上では動作しません。



詳細情報

IBM WebSphere Application Server の詳細については、IBM の営業担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、以下の Web サイトをご覧ください。

- ibm.com/jp/software/websphere/apprtransaction/was/

© Copyright IBM Corporation 2008

日本 IBM 株式会社
ソフトウェア事業
〒106-8711
東京都港区六本木 3 丁目 2 番 12 号

当資料に記載の肩書きや数値、固有名詞等は英語版掲載時のものであり、変更されている可能性があります。

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、AIX、Rational、WebSphere および z/OS は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。これらおよび他の IBM 商標に、この情報の最初に現れる個所で商標表示 (® または ™) が付されている場合、これらの表示は、この情報が公開された時点で、米国において、IBM が所有する登録商標またはコモン・ロー上の商標であることを示しています。このような商標は、その他の国においても登録商標またはコモン・ロー上の商標である可能性があります。現時点での IBM の商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtml の「Copyright and trademark information」をご覧ください。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

TAKE BACK CONTROL WITH **WebSphere.**



Recyclable, please recycle.

WSD14023-USEN-00